

企業内診断士覆面座談会



～去る9月11日(日)診断協会京都支部事務所にて、
機関誌「診断京都」初の企画として、企業内診断士の方の座談会を行いました。
当日は、日曜日にもかかわらず、5名の企業内診断士の方に集まっていたが、
日頃感じていることなどを存分に?語っていただきました。
今回は、匿名という条件でしたので、さかして、本音が聞けたのではないかと思います～

〈司会成岡〉今日は日曜日にもかかわらず、朝早くからありがとうございます。初めての企業内診断士の方の座談会ということで、まず、簡単に自己紹介からお願いします。

〈Yさん〉某金融機関にいます。営業店の融資係です。資格取得のきっかけは自己啓発の意味で、上司から勧められて取りました。組織内ではほとんど活用できているという実感はありません。企業再生のような特定の部署に配属されない限り、有り得ないと思います。

〈Iさん〉某製造メーカーにいます。前は、製造現場でしたから活用法も皆無でした。最近、情報システム部門に異動し少しはましかもしれませんが、あまり変わりません。資格取得の動機は、実家が町工場の経営者で、経営コンサルタントに興味を持ったからです。

〈Mさん〉某製造メーカーのディーラーサポート部門にいます。診断士の資格は古くて平成2年です。動機はお客様に接する中で、製造業のマネジメントを学習する必要性を感じたことです。特に、今の部署に異動してから、活用はかなりしているほうやないですか。

〈Fさん〉某サービス業関係の会社にいます。クライアントにいろいろ企画を提案するのが仕事ですから、結構活用しているほうだと思います。資格の取得は平成11年です。きっかけは、仕事で戦略計画やプロモーション計画に携わることが多くあったからです。

〈Nさん〉某製造メーカーの経営監査部門にいます。資格の取得は最近で平成15年です。まだ、1次試験の内容など、記憶にあります。動機は、スキルが身につくことと、将来、独立ということもあり得ると思ったことです。知識的な面で役立っていると思います。

〈司会成岡〉なるほど、自己啓発という観点ですね。しかし、

実際、組織内では、なかなか活用できていないのが現状でしょうが、その辺りを、はYさんから、いかがですか?

〈Yさん〉資格のカバーする範囲も広く、診断士として広範囲な知識やノウハウがあるけど、職場での認知はほとんどないですね。特に、外回りの営業になると預金集めですから、当然モチベーションは下がりますよ。組織内でどう活用したらいいか、自分でどうしたらいいか分かりません。事業再生などの案件を扱う部門くらいじゃないですか。

〈Fさん〉組織内で優遇されていることは一切ないですね。また、期待もしていません。確かにクライアントに行ったら、名刺に書いてあるので多少プラスがあります。企画提案を考えるときに、診断士のプロセスは役立っていますね。自分自身が、この資格をどうしようか考えないと、活用できない資格ですね。

〈Nさん〉活用は難しいと思いますが、1次試験で幅広く勉強したことは、普段日常の業務と関係ないことも役立っていますよ。2次試験の事例研究もそうです。会社での認知はありませんし、優遇されていることもありません。今の部署に、もう一人診断士がいますが、たまたま、持っている人が入ってきただけです。

●Iさんプロフィール
昭和37年生まれ43歳。某製造業の情報システム部に勤務。平成11年に診断士資格取得。企業内では全く認知されており、組織内での活用は積極?という状況不満足。支部会員。

社外での活用という意味の方が大きいです。情報部門での登録なので、情報診断士の会などの活動で生かしているくらいでしょうか。

〈Mさん〉名刺に診断士を書いたのは数年前からです。それまでは、お客さんと接する部門ではなかったのです。上司がいちいち紹介するので、面倒だから。今まで各地を転々として、そこで診断士仲間とのつきあいが役立っています。人脈の厚みでしょうか。自分は「新規屋」だと思っているから、外部のお客さんと接する今の部門では役立っていますね。

●Nさんプロフィール
昭和27年生まれ53歳。某製造業の管理部門に勤務。比較的最近の平成15年に診断士資格取得。現在担当の業務にある程度勉強した内容が関連あり、多少満足。支部会員。

〈司会成岡〉そうですね、やはり、あまり認知は高くはないですね。

〈Mさん〉名刺に書いていて、この資格を知っている人と、知らない人での反応が、格段に違いますね。自分が勉強した人か、挑戦した人は、当たり前ですが、とても反応がくれた。知らない人は、ほとんど反応がないですね。

〈Iさん〉前の経営者の時は、ほんとうにそうでした。最近でこそ、少しましになりましたが、会社の体質が、そういうものを認知する風土がないというのが実態ですね。

〈Yさん〉私も名刺には書いていますが、金融機関は制約が多いから、難しいですね。

〈Nさん〉そうですね?金融機関の人が一番活用できるんじゃないですか?企業診断部みたいな部門を作ればいい。

〈Yさん〉事業再生部だけでいい。営業推進部という部署もありますが、診断士のノウハウを活かして、金を貸していいと言われます(全員爆笑)。企業の診断をする時は、外部の診断士を頼むんですよ。外部のプロにコンサル料を払うんですよ(全員また爆笑)。

〈Mさん〉診断士とは、そもそも、何をやるんだということが分かっていないですね。

〈Iさん〉私は組織内での活用はほとんど諦めて、時間外の外部での活用に重点を置いています。そうしないと、本当に意味がないから。時間的に厳しですが、何とかやりくりして、自分のモチベーションを保てるようにしています。また、現在の組織内である程度のところまでたどり着けるように頑張りたいと思っています。

〈Fさん〉組織内の認知はもともとないと思っていますから、別に関係ありません。要は、自分の問題だと思います。どう動くか、どう活用するかは、最終的に、組織が決めることではなく、自分が決めることだと思います。

〈司会成岡〉なるほど、理想と現実のギャップは大きいですね。さて、最近話題の診断士更新内容の変更ですが、みなさん、本部からのアンケート見られましたか?

〈Fさん〉あれで、初めて内容を知りました(一啞うなずく)。アンケート見たら、私の場合はいけそうな気がしますが。普通に仕事して、お金を払って更新というのも、ちょっと抵抗がありますね。

〈Mさん〉新制度はプロを養成することですね。マネジメントを少し手伝える人はかなりいると思いますが、本当に経営を支えるプロを作るのが目的なら、今も本当に対応できる人は少ないです。門戸を広げて、質を高めるというのが、虫が良すぎるといえますよ。

〈Iさん〉やはり、基本的には診断士の社会的認知度や、社会的な地位が低いことがあるのではないのでしょうか。

〈Nさん〉いまの制度に変わったのは1年ほど前です。若い人の中には、在学中から取得を目指す人がいますし、学生で合格する人もいます。もし、今考えられている制度になったら、志願者は激減すると思いますよ。

〈Iさん〉受験の動機にもよるでしょうが、受験の時は、80%くらいの方が将来独立を考えているのではないのでしょうか。実際に合格してみると、そんな簡単なことではないと思います。年数が経てくると、どうしても現状維持になります。プロコン志望の資格なら、全く変わったものになると思います。どうかと疑問です。〈Yさん〉先日のアンケートではまとめて1週間という記述もありましたが、企業内でも会社が認めた業務の場合はOKではあるのかとか、その辺りの基準は疑問に思いますね。

〈司会成岡〉非常にグレーな部分ですね。やはり、全体的には資格を維持するのは難しくなると思われませんか？

〈Mさん〉スキルアップにつながる研修でないという意味が無いんですね。本当の実務研修でない。昔は3次実習のミニ版がありました。土曜日、日曜日に数日やって有料でしたが、非常に役に立ちました。

〈Fさん〉診断実習の練習試合みたいなものがあればいいですね。問題は、お金よりも時間を取られるかでしょう。

〈Iさん〉プロコンのサポートを単発でやるのがあれば、いいかもしれませんね。

〈Mさん〉新しい研修制度が出来るかもしれないけれど、会計士に会計士補があるんだから、診断士に診断士補があってもいいのでは？

〈Yさん〉実習先が有料か無料かというのは違うでしょうね。先方もお金を払うなら対価をきちんと求めるでしょう。それが本来の姿ではないでしょうか？

〈Nさん〉研修がこれ以上増えるのは止めて欲しいですね。

〈司会成岡〉基本的にやるはやるし、やらない人はやらないから、ほっておけばいいということですか？

〈Iさん〉今まで3つ会社を変わって、いま4目ですが、ずっと会社が面倒を見てくれるなんて考えられないです。だから、いつもポジションで話させる、話させないより、自分でもっと活用のレンジを考えないと、自分は、創業者的な器ではないと思っています。現在の組織の中である程度のとこまで、行きたいと思っています。

〈Mさん〉診断士の地位が上がることを考えるなら、自主性がない。診断士のいいところは、種々雑多な人がいる集団なので、その良さが失われてしまう危険性がありますね。

〈司会成岡〉次のテーマとつながりますが、最後の話題として、支部に期待されていることは何でしょうか？ Nさんから、どうぞ。

〈Nさん〉そうですね。急に言われても、あんまり期待値が高くないので、ちょっと待って下さい(一同笑)。

〈Iさん〉最初大阪支部に所属して、一巡したから京都支部に移りました。協会との情報が途切れるのが怖いですから、入っています。いろいろな切り口の研修をやってほしいですね。

●Fさんプロフィール

昭和26年生まれ54歳、某サービス業関係の会社に勤務。平成11年に診断士資格取得。クライアントへのプレゼンなどで活用しているため、まあまあ満足度。支部会員。

れと、企業内の診断士には、勉強会ではなく、交流会をやりたいです。

〈Yさん〉経営革新研究会の講師もしましたし、参加もしたましたが、いつも同じメンバー

で役員さんがほとんどで、変化がないですね。開かれた雰囲気を感じられな。知った人で固まっているという感じです。横のつながりを作ろうという雰囲気があります。なかなか馴染めないという印象です。本人の自覚と言えば、それまででしょうか…。

〈Mさん〉コンサルティングに必要なスキルと、実務に必要なスキルは重なっている部分が多いので、そういう部分を積極的に提供してもらえればと思います。支部会員以外の診断士も多くいるので、会費ゼロでの、別会員化という方法もあるのでは。それで参加しないなら、よほど魅力が無いのかもしれませんが。〈Yさん〉組織内のある資格者の会もありますが、やはり同じメンバーで固まっていますね。

〈Fさん〉経営革新研究会も頑張っていると思いますが、ITCとも重なって、なかなか行けません。だし、自分の知らないテーマだと、やはり、行って勉強しようと思います。ただ、それにしては、会費が他の資格の会に比べて割高感がありますね。

〈司会成岡〉考えれば、毎月定例の提供サービスは経営革新研究会だけですね。東京ならいっぱい勉強会、研究会があつて、百花繚乱ですよ。やはり、場の提供が少ないかも。

〈Nさん〉経営革新研究会も何回か参加しましたが、情報交換ならメールで出来ますし。企業内にいると、時間が作れないというのが、本音です。

〈Fさん〉講師を探すのが結構大変なのは。それと、どんな人が支部の会員になっているか、分らないですか。

〈Iさん〉そういう意味では、「情報診断士の会」はいいですよ。唯一、交流という場になっています。

〈Nさん〉年末に京都の診断士が一同に集まる忘年会などは、どうかが日常的には、なかなか参加できない人対象に。

〈Iさん〉同じ趣旨で、年に1回くらい、交流だけを目的とした「本当の交流会」などを企画して欲しいですね。

〈Mさん〉更新研修の時だけ会う方もあります。会社の名前を聞いても分かりませんしね。できるだけ会員情報をデータ化して欲しいですね。いくつか個人的にはネットワークを持っていますが、支部会員のプロフィールがないのは、問題です。

〈司会成岡〉資格を取ったあとのひとりのメリットはネットワークの活用だと思います。個人情報保護もありですけど。

〈Mさん〉資格を取ったことで、変な目でみられたこともありましたが、あいつ、そのうち止めるんじゃないか(笑)。

〈Yさん〉企業内には異動もあってメンチャが大変ではありますが、1年に1回くらい、データに変更ありませんかとお問合せがあってもいいのでは？

〈司会成岡〉では、いろいろと注文も出たところで、今日は、お聞きとさせていただきます。ご要望が、どれくらい実現できるかがポイントかと思つています。今日は、どうも有難うございました。



司会：成岡

昭和27年生まれ53歳、昨年30年間の会社勤めを経て独立。平成13年に診断士資格取得。今年度から支部の理事、機関誌「診断京都」の編集長を担当。